

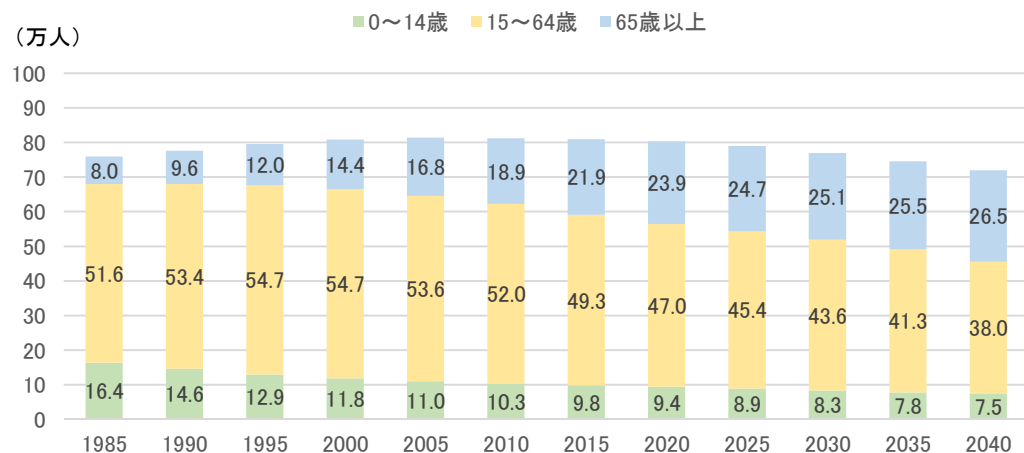
地域道路経済戦略研究会 北陸地方研究会の研究内容

第10回合同研究会
令和元年11月29日

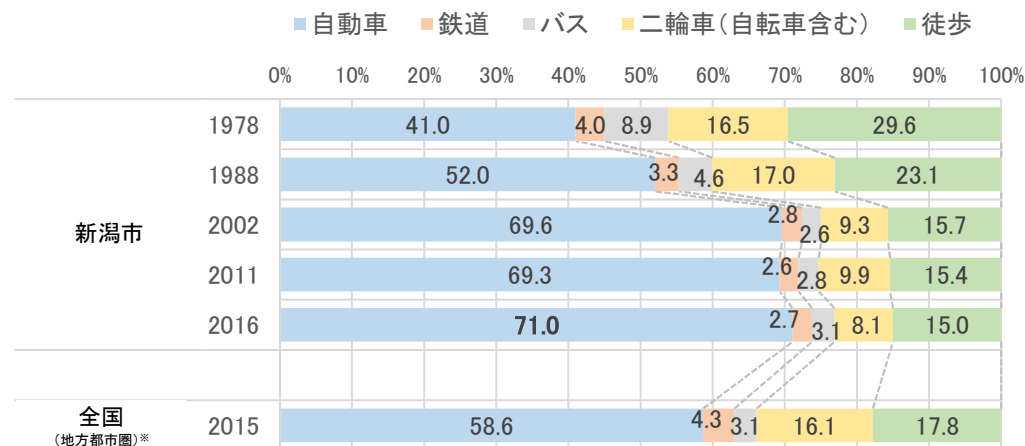
1. 新潟市の課題

- 新潟市では、人口減少及び少子高齢化が進む中、依然として自家用車の交通分担率が高く、免許返納後の高齢者等の移動手手段の確保が課題となっている。
- バス交通に関しては、バスの利用者数の減少により維持が困難になった路線の運行便数の減便等により利便性が低下し、利用者がさらに減少するという悪循環が続いている状況である。
- また、中心市街地の歩行者数は減少しており、まちなかの衰退もみられる。

人口と将来推計

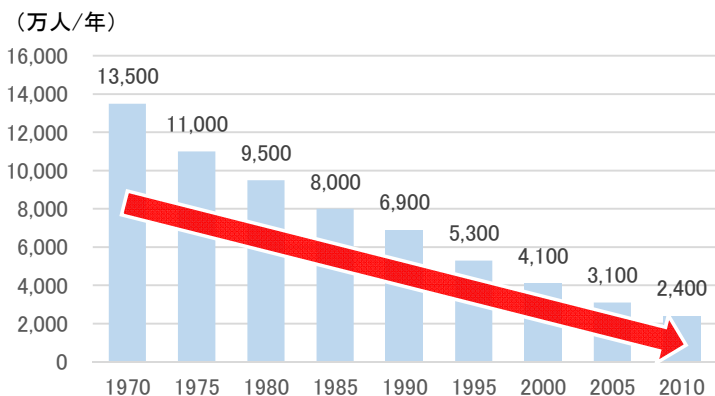


交通手段分担率の推移

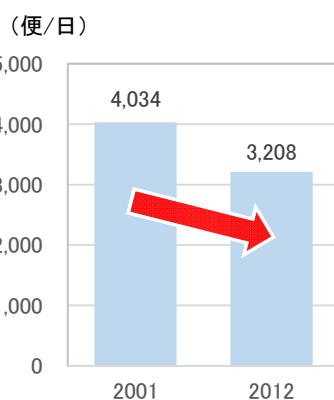


※出典：平成27年 全国都市交通特性調査

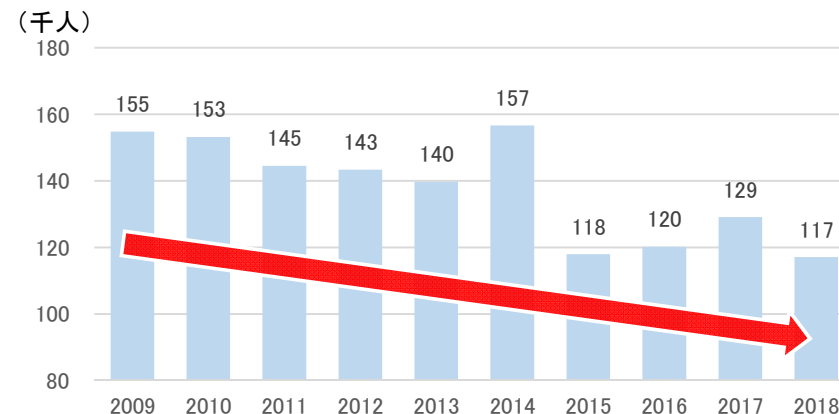
バス利用者数の推移



バス運行便数の推移



中心市街地の歩行者交通量の推移

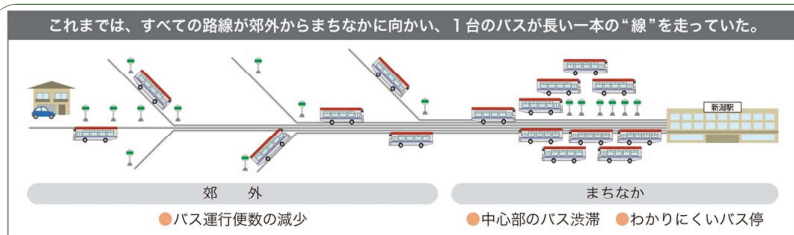


出典：にいがた都市交通戦略プラン（新潟市）・新潟市BRT第1期導入事業概要（新潟市）

2. 新潟市の課題解決に向けた取り組み

- 持続可能な公共交通の確保に向けて、2015年9月から新バスシステムを導入し、基幹公共交通軸を中心とした公共交通ネットワークの形成に向けて取り組まれている。
- 令和元年7月に策定された「にいがた都市交通戦略プラン」では、『県都新潟の拠点化と安心して暮らせるまち』を新たな交通の将来像として掲げ、広域交通との連携強化や市民等による協働の視点を加えた基本方針に基づいた交通施策が展開されている。

新バスシステムの導入



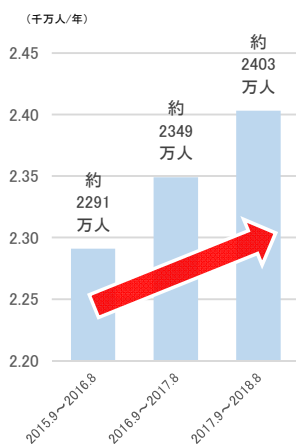
BRT導入とバス路線再編により



連節バス



バス利用者数の推移



新バスシステム導入後、バス利用者は増加傾向

にいがた都市交通戦略プラン

新たな交通の将来像

県都新潟の拠点化と安心して暮らせるまち

- 目標1 県都新潟の拠点化を支える交通
- 目標2 安心して暮らせることで選ばれるまちを支える交通

新たな基本方針

にいがた都市交通戦略プラン



3. 新潟市スマートシティ

- 新潟市では「田園に包まれた多核連携型都市」を構築し、賑わいのある持続可能な都市を目指しているが、田園地帯が多く都市が広域的に分散していることから拠点間の連携が課題となっている。
- 課題解決のため、農業や交通等の各分野においてICTを活用した施策を展開し、得られたデータを分野横断的に蓄積し、複合的な施策を展開していく「新潟市スマートシティ協議会」の設立が検討されている。
- 交通分野においては、都心部の魅力創出と一体となった交通サービスを検討されている。

①スマートシティを推進するための基盤づくり

プラットフォーム実装プロジェクト

- ・都市の基礎データや人の行動に係るデータを分野横断的に収集し、蓄積する。
- ・収集したデータを分析し、各種施策をマネジメントする仕組みを構築する。

②移動の目的地を創出

都心部の魅力創出プロジェクト

- ・ICTを活用した魅力創出の施策や情報提供により、エリア内に潜在する魅力を繋ぎ、全体を最適化

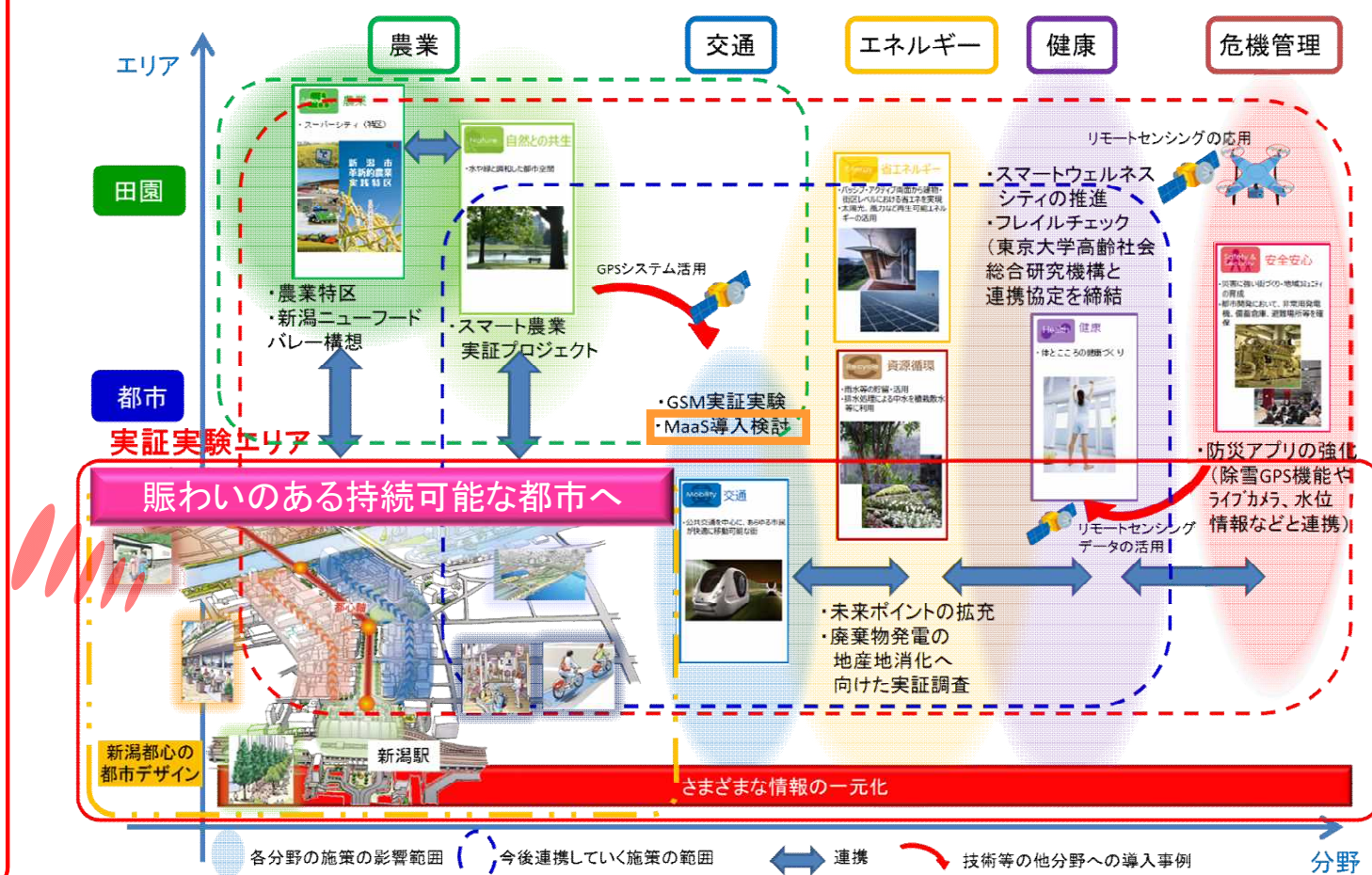
魅力創出と移動手段が一体となったサービス提供

③目的地への最適な移動手段提供

モビリティプロジェクト

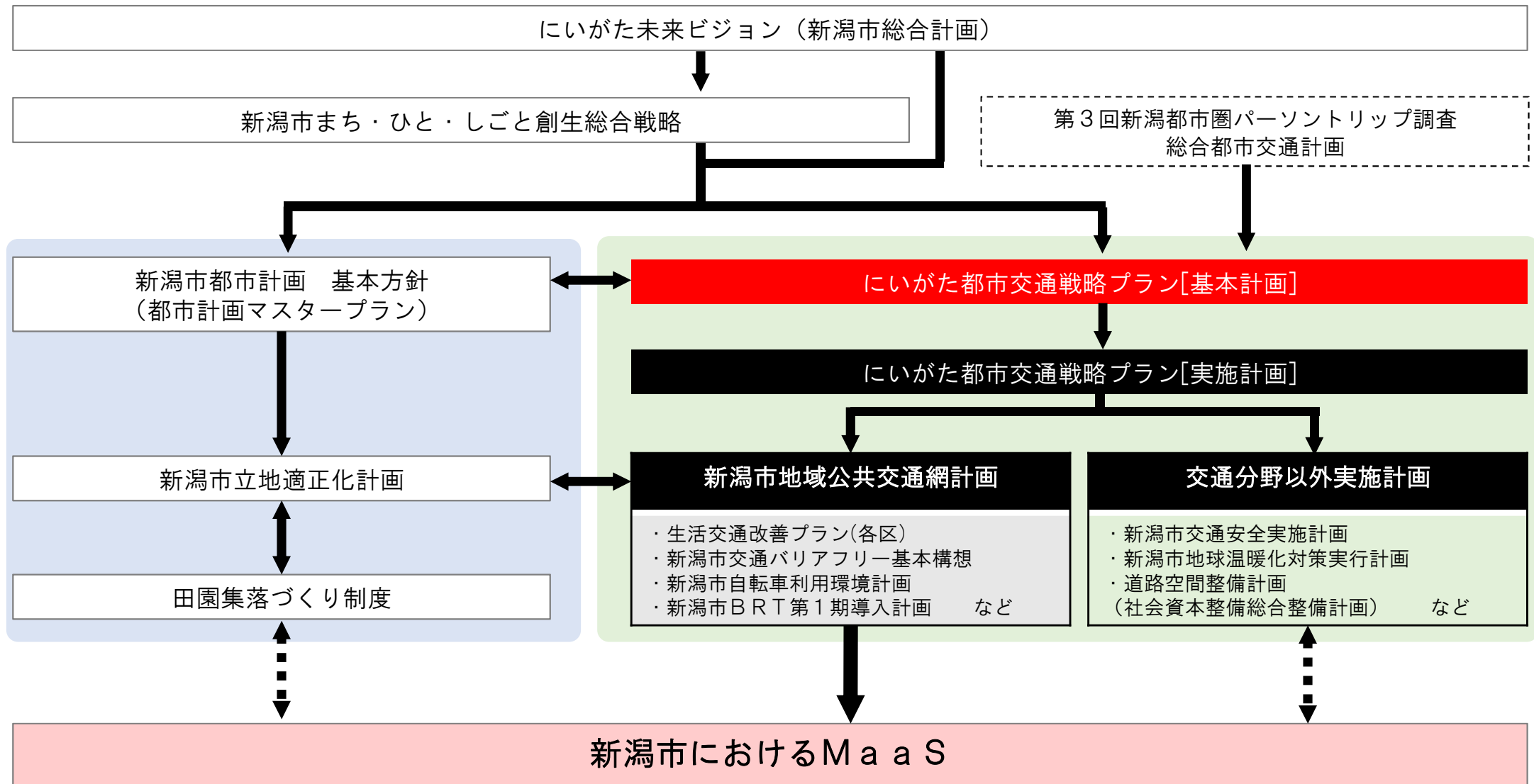
- ・きめ細かな移動ニーズに対応可能な新たな交通サービスを導入し、既存の公共交通と連動した統合型の交通サービスを提供

新潟市スマートシティ 全体像



4. 新潟市におけるMaaSの位置付け

○新潟市におけるMaaSは、総合計画である「にいがた未来ビジョン」「新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に即した「にいがた都市交通戦略プラン」の実施計画の施策のひとつとして位置付けられている。



4. 新潟市におけるMaaSの位置付け

- 「にいがた都市交通戦略プラン」では、生活交通の利便性向上に向けた取り組み等による『暮らしを支えるモビリティを地域で育む交通戦略』の実現を目指している。
- 生活交通の確保に向け、これまでに取り組んできたデマンド交通(乗合タクシー)等の社会実験などを検証しながら、公共交通の利便性の向上や地域のニーズに応じた交通サービスが検討されている。

にいがた都市交通戦略プラン

暮らしを支えるモビリティを地域で育む交通戦略【生活交通の確保維持・強化】

【にいがた都市交通戦略プラン【基本計画】p.42,63-68】



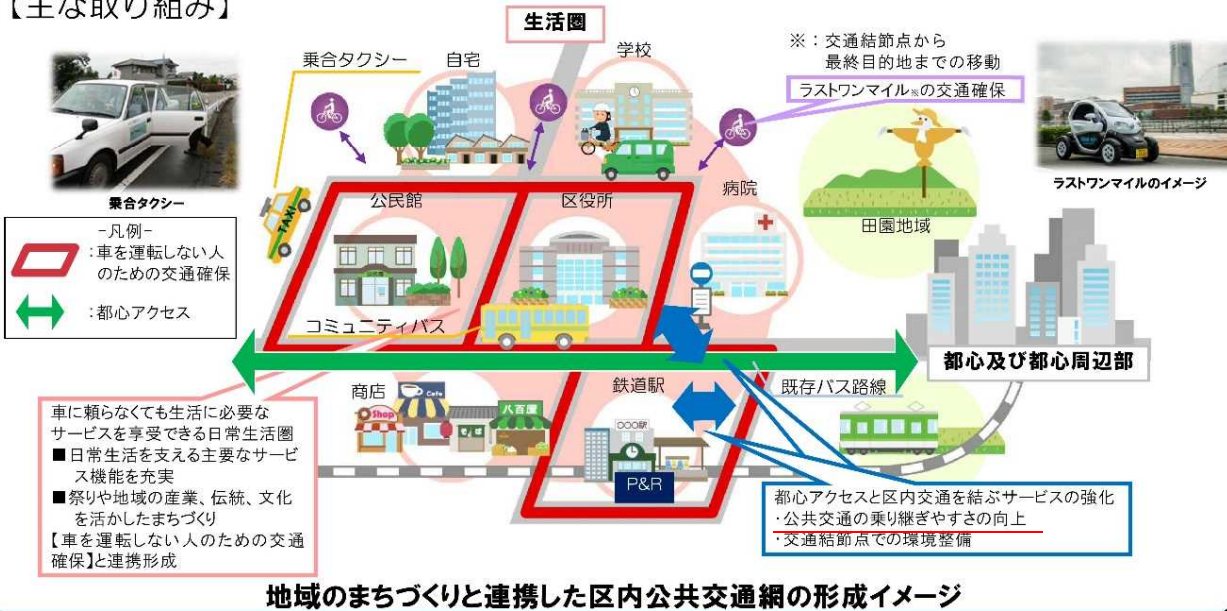
区バス・住民バスの利便性向上、利用促進に向けた取り組みなどにより、生活交通が強化されることで、安心して暮らせるまちの一翼を担います。

暮らしやすい移動環境の確保

10年後には…

車がなくても安心して暮らせるようになった!

【主な取り組み】



地域のまちづくりと連携した区内公共交通網の形成イメージ

①地域のまちづくりと連携した区内公共交通網の形成

○公共交通は区内の生活拠点内や拠点間を結ぶなど、地域のまちづくりと連携して形成

②多様なライフステージのニーズや需要に応じた交通手段の活用

- 地域の移動ニーズや需要に応じて、乗合タクシーや自家用車等を含めた適切な交通手段を活用
- 超高齢化社会が進展するなか、各々のニーズや需要に対応するため、事例等を踏まえつつ検討

③地域主導による計画づくりや運営の支援

○地域のニーズに応じた交通サービスを効率的に提供するため、自治会等の地域主導による計画づくりや運営を推進

<これまでの取り組み：デマンド交通（乗合タクシー）社会実験>

通院や買い物に便利 南風(乗合)タクシー

新緑田・茨曾根エリア ※小林地区の「戸上」停留所を含む。

南風(乗合)タクシーとは? 事前予約により、バスで乗って、バスで降り、格好で利用できるタクシーです。

ご利用方法 予約受付時間内(タクシー会社へ)の電話予約が必要です。

行先	乗車料
第1区	7:00 - 11:00
第2区	8:00 - 12:00
第3区	9:00 - 13:00
第4区	11:00 - 14:00
第5区	14:00 - 16:00
第6区	16:00 - 18:00

予約締切時間 運行開始前15分前

運行時間 運行開始前2時間前

運行区間 運行開始前1時間前

ご予約はこちら

相乗りタクシーご利用案内

2019年4月1日から

時刻表	予約方法														
<table border="1"> <tr> <th>行先</th> <th>乗車料</th> </tr> <tr> <td>第1区</td> <td>7:00 - 11:00</td> </tr> <tr> <td>第2区</td> <td>8:00 - 12:00</td> </tr> <tr> <td>第3区</td> <td>9:00 - 13:00</td> </tr> <tr> <td>第4区</td> <td>11:00 - 14:00</td> </tr> <tr> <td>第5区</td> <td>14:00 - 16:00</td> </tr> <tr> <td>第6区</td> <td>16:00 - 18:00</td> </tr> </table>	行先	乗車料	第1区	7:00 - 11:00	第2区	8:00 - 12:00	第3区	9:00 - 13:00	第4区	11:00 - 14:00	第5区	14:00 - 16:00	第6区	16:00 - 18:00	<p>① 電話予約</p> <p>② 予約受付時間内(タクシー会社へ)の電話予約が必要です。</p> <p>③ 予約締切時間前15分前</p> <p>④ 運行開始前2時間前</p> <p>⑤ 運行区間 運行開始前1時間前</p>
行先	乗車料														
第1区	7:00 - 11:00														
第2区	8:00 - 12:00														
第3区	9:00 - 13:00														
第4区	11:00 - 14:00														
第5区	14:00 - 16:00														
第6区	16:00 - 18:00														

近々のゴミステーションや公民館等にあります。

予約受付時間内(タクシー会社へ)の電話予約が必要です。

運行開始前15分前

運行開始前2時間前

運行区間 運行開始前1時間前

5. 新潟市におけるMaaSの動き

- 今年度は「スマートモビリティチャレンジ」のパイロット地域分析事業の対象である民間事業者を主体としたMaaSの実証実験を行い、実験結果の解析から新潟市にふさわしいMaaSのあり方について検討を予定している。
- また、新潟市中心部を対象に、JR東日本を主体とした観光型MaaSの実証実験も行われている。

令和元年度

地域型MaaS(個別交通モード高度化型)

- 【事業主体】新潟交通(株)×日本ユニシス(株) (予定)
- 【実験期間】R2.2を予定
- 【事業概要】
- ①MaaSアプリ(検索・決済)
 - ②路線バス+レンタサイクル1日乗車券
 - ③商業施設クーポン
 - ④オンデマンドバス(土休日運休)

◆パイロット地域分析事業 [データ分析]

民間事業者による実証実験で得られたデータを解析し、導入に向けた課題を整理し、事業計画策定、効果分析を国(経済産業省)が実施

実証実験結果を解析(新潟市)

観光型MaaS(個別交通モード高度化型)

- 【事業主体】JR東日本
- 【実験期間】R1.10.1~12.31
- 【事業概要】
- ①新潟市観光循環バス1日乗車券
 - ②ほろ酔いチケット
 - ③ぽんしゅ館特典
 - ④駅レンタカー予約



※出典：JR東日本HP

令和2~3年度

上記実験を踏まえ、新潟市にふさわしいMaaSについての基本的な考え方を検討

有識者も含めた検討組織にて、新潟市にふさわしいMaaSの定義と官民の役割分担を定める

6. 実証実験の概要

- 実証実験では、地域ICカード「りゅーと」のスマートフォンアプリとしてMaaSアプリを開発し、MaaS機能を搭載させる。
- バス、レンタサイクル等の複数交通モードの乗り放題と合わせて都心部商業施設のクーポンを包含することで、都心部の回遊性を向上させ、まちなかの賑わい創出につなげる。

新潟MaaS検討推進プロジェクト（新潟県 新潟市）

【新潟市、新潟交通、新潟交通観光バス、にいがたレンタサイクル、日本ユニシス】

大規模都市

(R1.6時点)

◆地域の課題

- ・ 自家用車への依存率が高く、都心部の交通集中によるアクセス支障改善
- ・ バス事業者を始めとする公共交通事業者の事業採算性の低さ
- ・ 単一モーダルにおける公共交通利便性の限界
- ・ 免許返納後の高齢者、自家用車非所有者への移動手段確保

- ☑ 複数移動手段活用時の利便性
- ☑ 公共交通・道路の混雑
- ☐ ラストマイルの移動手段不足
- ☑ 高齢者等の移動弱者の増加

METI「新しいモビリティサービスの活性化に向けて」より引用

◆将来構想の概要

- ・ 2020年度より、複数交通モードでの定額制および生活サービスとの連携した形のMaaSサービス（スモール営業）を開始。
- ・ 2022年度オンデマンドバスの本格営業開始。
- ・ 収集データを分析し、関係者とともに共有し、議論を重ね、新潟市にとってふさわしいMaaSの考え方をとりまとめる。

◆実証実験の概要

- ・ スマホ向けMaaSアプリの構築及び実証
 - ・ 地域ICカード「りゅーと」をアプリ化
 - ・ 乗り放題（バス、レンタサイクル、デマンドバス）+ 都心部商業施設のクーポン
- ・ オンデマンド交通の実証運行(マイクロトランジット)新潟市中心市街地で実施

- ☐ カーシェア
- ☑ デマンド交通
- ☑ マルチモーダルサービス
- ☐ 自動走行車の活用
- ☐ 貨客混載
- ☐ ラストマイル配送無人化
- ☑ 移動サービスと周辺サービスの連携

METI「IoTやAIが可能とする新しいモビリティサービスに関する研究会」中間整理」より引用

◆対象地域

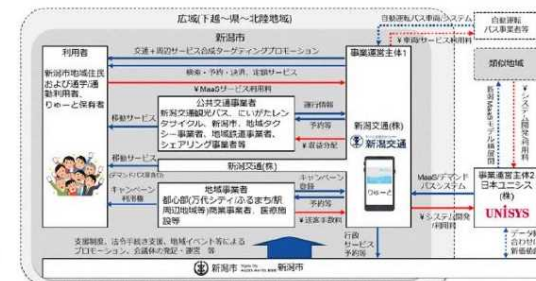
- ・ マルチモーダルサービスの試験運用については、新潟交通の乗合バス全域・区バス全域新潟市中心市街地が対象
- ・ オンデマンドバスの実証運行については新潟市中心市街地が対象



出所) 新潟交通株式会社webサイト

◆サービスモデル

- ・ 地域ICカード「りゅーと」をアプリ化してMaaS機能を搭載し都心部の回遊性を向上。商業施設と連携してクーポン等を配布することで公共交通利用の促進を図る



7. 新潟県・庄内デスティネーションキャンペーン

- 令和元年10月～12月にかけて、新潟県と山形県庄内地方を対象に「日本海美食旅(ガストロノミー)」をキャッチフレーズとした「新潟県・庄内エリア デスティネーションキャンペーン」が開催されている。
- キャンペーン中の取組の一環として、地域の魅力発信とシームレスな移動確保に向け、「観光MaaS」の実証実験が実施されている。

「新潟県・庄内エリア デスティネーションキャンペーン」とは

新潟県・庄内エリアを全国にアピールするため、地域（地方公共団体や企業等）とJRグループ6社（北海道・東日本・東海・西日本・四国・九州）が協働で取り組む、国内最大規模の大型観光キャンペーン。新潟県で開催するのは平成26年度以来5年ぶり、9回目。



「食」「酒」等の魅力を中心に、それを育んだ各地域の歴史や伝統、暮らし、人といった背景など知己のストーリーを伝えるため「日本海美食旅」をキャッチフレーズとして国内外に発信



◆「新潟県・庄内エリア デスティネーションキャンペーン」推進協議会

- ・事務局
「うまさぎっしり新潟」観光推進協議会
- ・顧問
新潟県知事、山形県知事、東日本旅客鉄道(株)新潟支社長
- ・総合プロデューサー
岩佐十良
- ・会長
新潟県観光協会会長
- ・副会長
新潟県観光協会副会長（新潟県旅館組合理事長）、山形県推進部会長（鶴岡市長）
- ・新潟県推進部会
「うまさぎっしり新潟」観光推進協議会
- ・山形県推進部会
「新潟県・庄内エリアDC」推進協議会山形県推進部会

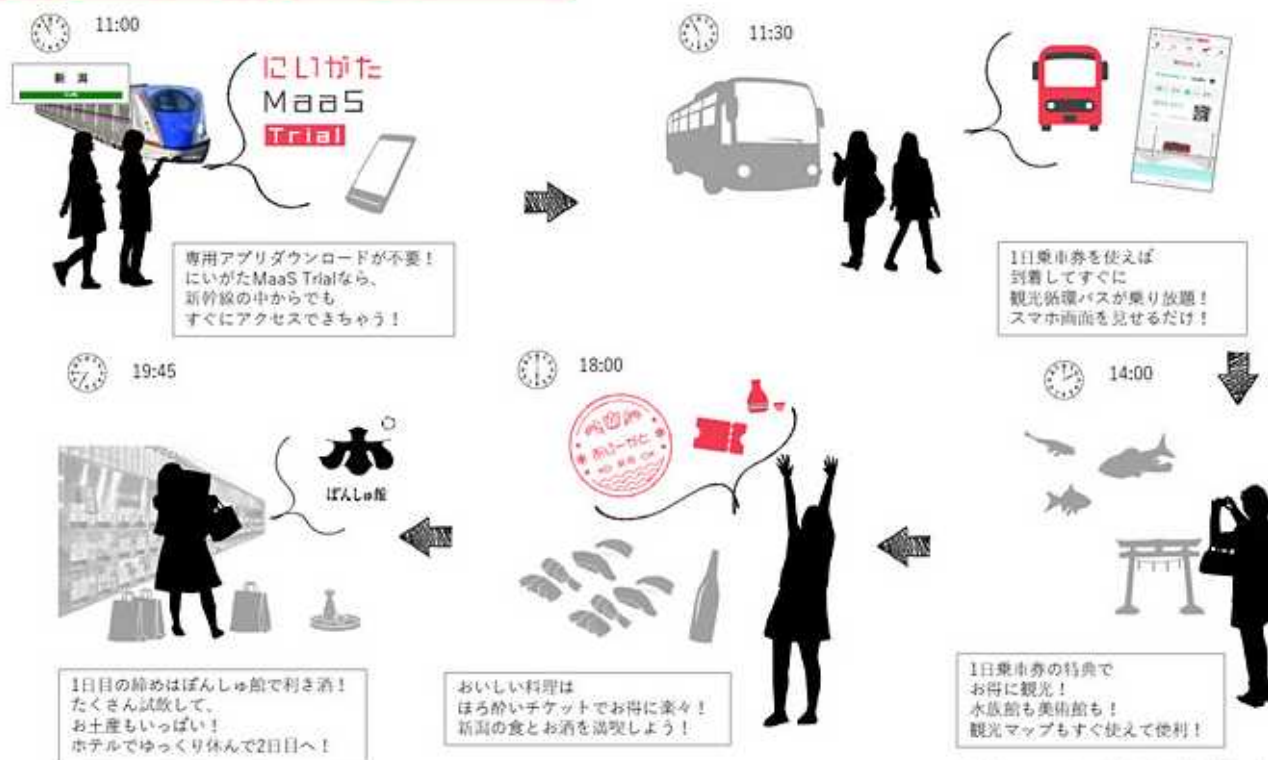
※出典：「新潟県・庄内エリア デスティネーションキャンペーン」HP

8. JR東日本 観光型MaaS実証実験

○新潟市内を対象に、飲食店や観光地の情報発信や、移動手段などの検索、予約、決済ができる機能を連携させ、シームレスに移動できる仕組みを構築し、その効果検証が行われる予定である。

利用シーン (イメージ)

「にいがたMaaS Trial」画像イメージ
JR東日本アプリからの連携画面



※出典：JR東日本HP、「にいがたMaaS Trial」

実証実験の概要

◆エリア	新潟市内	◆サービス名	にいがたMaaS Trial	◆期間	令和元年10月1日～12月31日
◆URL		◆協力			

<https://niigata-maas.com>

※スマートフォン専用サービス

※ダウンロード不要のWEBサービスで提供

新潟交通株式会社、新潟市、古町花街コミュニティインフォメーション、(公財)新潟観光コンベンション協会、佐渡市、(一社)佐渡観光交流機構、庄内観光コンベンション協会、日本海きらきら羽越観光圏推進協議会、タイムズ24株式会社、株式会社ぐるなび、ぼんしゅ館新潟驛店、JR 東日本レンタリース株式会社新潟営業所

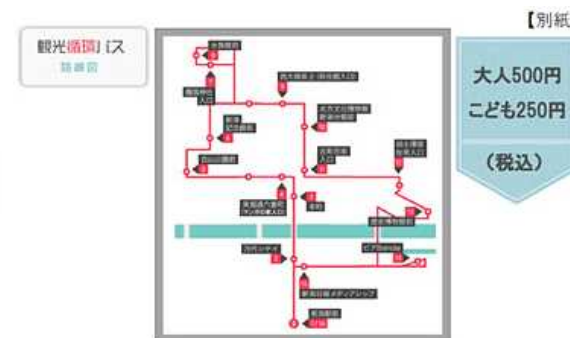
8. JR東日本 観光型MaaS実証実験

観光マップ

地図上に、飲食店、タイムズカーシェア、ホテル等を表示



新潟市観光循環バス1日乗車券



- 本数** ・16便(10/1~10/31)、7便(11/1~12/27の平日)、14便(11/1~12/27の土休日)
※12/28~12/31は全便運休
- 特典** ・紙の1日乗車券と同様に市内の観光施設や飲食店が割引になります
- 使い方** ・いいがたMaaS Trialに登録したクレジットカードで購入します
・バス降車時や特典利用時に1日乗車券を提示して使用します
- その他** ・いいがたMaaS Trialの地図上に観光循環バスの走行位置を表示します
・観光循環バスに関する詳細は新潟市ホームページをご確認ください

※現時点でのイメージであり、今後変更になる可能性があります

※出典：JR東日本HP、「いいがたMaaS Trial」

8. JR東日本 観光型MaaS実証実験

ほろ酔いチケット

古町の
美食をお得に
楽しめます

1枚1600円
(税込)
※初回は2枚から
購入可能



スマホで
買えるデジタル
チケット

ほろ酔いチケット

日本らしい歴史と文化が今なお息づく新潟市の「古町」。そこには情緒ある雰囲気のある割烹や日本料理店、居酒屋など魅力的な飲食店がたくさんあります。「ほろ酔いチケット」は美食と名酒を味わい飲み歩きができる電子チケットです。参加店に足を運び、チケットを使って古町を楽しみましょう。
※2019年12月20日までご利用いただけます

ほろ酔いチケットを購入する



お勤定も
デジタル
スタンプで

- 概要** ・新潟市古町の飲食店をお得に利用できるデジタルチケットです
- 店舗など** ・利用可能な店舗や提供されるメニューは決まり次第お知らせします
- 使い方** ・「にいがたMaaS Trial」に登録したクレジットカードで購入できます
・購入したデジタルチケットを店舗に提示しデジタルスタンプを押印して使用します

※現時点でのイメージであり、今後変更になる可能性があります

ぼんしゅ館特典

ゲームで
メダルを
GET!

メダルで
日本酒が
飲める

- 概要** ・「にいがたMaaS Trial」で新潟市観光循環バス1日乗車券、ほろ酔いチケットを購入したお客さまへゲームに参加できる福引券をプレゼントします
- 使い方** ・福引券をぼんしゅ館新潟駅店の専用端末で読み取りゲームに参加します
・ゲームの結果に応じてメダルがもらえます
- その他** ・詳細は決まり次第お知らせします

※「ぼんしゅ館」新潟駅構内にあるお酒ミュージアム
日本酒の冽き酒体験が出来るほか、名産品を取り揃えている

ぼんしゅ館福引券

この福引券は新潟駅構内にある「ぼんしゅ館」の冽き酒に利用できます。福引券1枚につき必ずおちよこ1杯、運が良ければ3杯もらえるチャンス！

福引券は、「観光循環バス1日乗車券」、もしくは「ほろ酔いチケット」を購入することで手に入ります。

観光循環バス1日乗車券を購入する

駅レンタカー予約

スマホ予約で
レンタカーも
特別価格に!

	単位(円)			
クラス	S フィット ヴィックなど	A カローラ アクシオなど	ES	
代表車種				
12時間まで	4,000	5,300	5,300	
24時間まで	5,300	6,300	6,300	
以後24時間ごと	4,200	5,300	5,300	
以後1時間ごと	1,100	1,100	1,100	

※税込、免費補償料込、NOCサポート込

- 概要** ・JR東日本レンタリース㈱新潟営業所の駅レンタカーを特典価格で予約できます
- 使い方** ・「にいがたMaaS Trial」でレンタカーを予約します。最短1時間前まで予約可能
・支払いは営業所で行います
- その他** ・予約可能な車種は「S」「A」「ES」クラス限定となります

※現時点でのイメージであり、今後変更になる可能性があります

駅レンタカー予約

利用可能店舗 駅レンタカー新潟営業所 (新潟駅南口)

新潟営業所をマップでみる

場所 新潟駅南口東側自由通路脇
CoCoLo南館内 (フロントは3F
にございます)

電話番号 025-245-4292

9. 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

- 交流人口の拡大や新潟駅の拠点性向上を目指すため、新潟駅交通結節機能強化に向けた計画策定を目的とする有識者や関係機関で構成された検討委員会を行っている。
- 乗り換え等の利便性向上や回遊性の向上に繋がるMaaSの導入も見据えて、新潟駅周辺の広域的な交通結節機能の強化と公共交通を中心とした駅周辺のまちづくりに向けて検討を進めている。

新潟駅交通結節機能強化検討委員会

開催目的

新潟駅周辺地区において、交流人口の拡大や拠点性の向上を目指すため、専門的・学術的見地から幅広い意見を聴取し、駅周辺における交通結節機能強化に向けた計画を策定することを目的として開催。

- (1) 駅周辺の広域的な交通結節機能強化策に係る事項
- (2) 公共交通を中心とした駅周辺まちづくりに係る事項
- (3) その他駅周辺広域交通計画に関し必要と認める事項

構成員

- <委員>
- ・ 学識者（長岡技術科学大学 佐野教授）
 - ・ 交通事業者
（JR東日本(株), 新潟交通(株), 南口臨時バスターミナル使用者）
 - ・ 近隣大規模土地所有者
 - ・ 行政機関（国、県、市）
- <オブザーバー>
- ・ ハイヤータクシー協会

スケジュール(案)

